

年頭の挨拶 会長 田中 健三

皆様、新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで、清々しい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は皆様方のご協力のおかげで、ひろしま歩け歩け協会は飛躍の年となったように思います。私達の活動内容も大きく世界が広がった一年でもあったように感じています。

昨年4月には、NPO法人ひろしま歩け歩け協会の活動がNHK広島放送局ラジオ番組に取り上げられ、県下に生放送されました。

また、長年懸案であったホームページの開設が実現できた事で、ウォーキングに関心のある多くの人々に対し、私達の活動内容やウォーキングの効用、魅力などを広くPRし、情報発信することが可能となりました。既にホームページを通じて会員になられた方もあり、問い合わせなどの件数も増加傾向にあり、大変嬉しく思っているところです。

今年は昨年着手できなかった事柄を引き継ぎ、その具体化を目指す予定です。その主な内容は次の三点です。

- ① 幼児歩育への取り組み準備
- ② 例会におけるウォーキング弱者への対応・企画
- ③ 役員の増員及び指導員資格取得の助成

また、申年の諺にある「見ざる聞かざる言わざる」と云う戒めの言葉に係ることなく、反対の視点で「目を大きく開けて見る・歩いて行って聴く・考えを話す」事の大切さを自覚して、より楽しく、平和で触れ合いに満ちた歩け歩け協会に成長したく考えています。

引き続き皆様方のご協力とご支援を仰ぎながら、健康寿命を伸ばし、一日でも長く自立した生活が継続出来るよう「いつもより1,000歩余分に」を合言葉に一緒に歩きましょう。

12月例会便り 紫雲にたなびく箕山と古刹竹林寺参詣 12月6日(日) 参加者 112名

曇り空の下、会員 67名を含む総勢 112名が入野駅前に集合。一般参加者が 40%を越すのは稀です。深く積もった落ち葉を踏みしめ、山道をゆっくり上りました。黄色く染まった晩秋の景観が疲れを吹き飛ばしてくれました。

約1時間半で竹林寺に到着。鐘堂からの眺望は、霞がかかり今一つでした。昼食を終えるとすっかり汗も引き、体が少し冷えてきました。下山の道は途中から舗装道となり、先頭は早や1時間で河内駅にたどり着きました。久しぶりの登山例会でしたが、皆さん、師走の一日をたっぴり楽しまれたのではないのでしょうか？

12月の新入会員
角 伸二さん



■1月例会■ **大頭神社安全祈願と大野の西国街道ウォーク** 平成28年1月10日(日)
大野浦駅からスタート。まずは西国街道を東へと進む。大野学園前には大正時代の道標「右 宮島廣島道」がある。県道を離れ、川沿いに進み、高速道をくぐる

と大頭神社である。新年の参拝、安全祈願を済ませ、お神酒を一杯。別鴨橋を渡って、神社を後にし、高速道に沿った広い車道を南進。途中から坂を下れば、元の西国街道につながる。駅前を通過し、細い街道に入っていく。向原の石畳は仮舗装の下に保存している。急な坂を上りきると大野瀬戸の景色が待っている。

バス道を横断すると、情緒ある古代山陽道へ入っていく。今川貞世の歌碑、貯水池を過ぎると自動車道の真下。雑木林の中に残念さんの看板が道案内をしてくれる。この辺りは四十八坂で、突然、残念社が目の前に現れる。

少し行くと吉田松陰腰掛けの岩に着く。三県一望の地といわれるが、林が邪魔をする。頑張って依田神社まで登ろう。ここからの絶景に疲れも吹っ飛ぶ。

高速道にかかる歩道橋「ざんねんさん橋」を渡ると、竹林の中、歩きやすい山道である。県道をしばらく歩くと宮浜温泉へ右折。京都大学原爆総合研究調査班遭難記念碑に手を合わそう。

宮浜グラウンドゴルフ場にて昼食。目の前のヒマラヤ杉が巨大だ。住宅街を上ればまた広い県道である。朝、歩いた道と交差しながら瀬戸の風景を右に見てゆっくり歩こう。今日の最後は大田神社である。隠れた花見の名所である。ここを下ると大野浦駅はもう近い。



2月例会予定
平成28年2月7日(日)
ハートの島を眺める大芝島巡り
集合 呉線 風早駅 9:20
解散 呉線 安浦駅 14:40頃

ガンバツタで賞

表彰式は一月の例会で行ないます。

<p>＊ゴールド賞とは年間十一回以上参加の方 シルバー賞とは年間九回〜十回参加の方</p>		<p>ゴールド賞</p> <p>石間伏悦郎 石間伏千津美 加瀬部忠幸 河田 治子 工藤 敏治 坂口 栄 新藤 忠幸 田中 健三 田辺 怜子 中村 晴子 新見 文子 原本つきみ 藤井真理子 山路恵美子 和木坂正康</p>
	<p>高 原 和子 高 原 順治 近 藤 克也 狩 野 和明 加 古 川 照子 出 原 道生 市 来 勇 津 川 ノリコ</p>	<p>シルバー賞</p> <p>市 来 勇 出 原 道生 加 古 川 照子 狩 野 和明 近 藤 克也 高 原 順治 高 原 和子 森 田 郁子 富 田 玲子 濱 西 孝征 廣 田 ナミ子 廣 田 優美子 藤 明 豊子 津 川 ノリコ</p>

(敬称略)